

### Ⅲ. チームオレンジにつながる事例

#### 事例の構成について

各事例は以下のように構成されています。

| 〇〇市町 「<br>」             |   |  |             |     |                 |
|-------------------------|---|--|-------------|-----|-----------------|
| キーワード                   |   | 自治体や地域のプロフィールになります。                    |             |     |                 |
| ○ 自治体情報                 |   |  |             |     |                 |
| 人 □                     | 人 | 高齢者<br>人 □                             | (高齢化率<br>%) | 面 積 | km <sup>2</sup> |
| 市町の紹介                   |   |  |             |     |                 |
| ① 活動の概要                 |   | 取り組み内容や実施主体、連携した機関、取り組みの期間を載せています。     |             |     |                 |
| ② この活動に取り組んだきっかけと経過     |   |  |             |     |                 |
| ③ 活動内容                  |   | 実際の取り組みの具体的な内容になります。                   |             |     |                 |
| ④ 活動を進めていく上での工夫・配慮      |   | 各モデル市町が取り組みの中で工夫・配慮したところになります。         |             |     |                 |
| ⑤ 活動に取り組んで見えてきた効果・課題    |   |  |             |     |                 |
| ⑥ 今後の活動展望（期待・予想される結果など） |   |  |             |     |                 |
| この活動を通して見えてきたポイント       |   |  |             |     |                 |
| 参考資料                    |   | 文章では伝えきれなかったことや活動の図解等があれば、参考として載せています。 |             |     |                 |

『徘徊』と言われている認知症の人の行動については、無目的に歩いているわけではないので、表現として好ましくないというご意見がありますが、事例の内容を正確にご理解いただくため、原文のまま掲載しております。